

令和2年度決算

下野市の令和2年度の決算がまとまり、9月開催の市議会定例会で承認されましたので、お知らせします。

● 一般会計の決算規模と収支

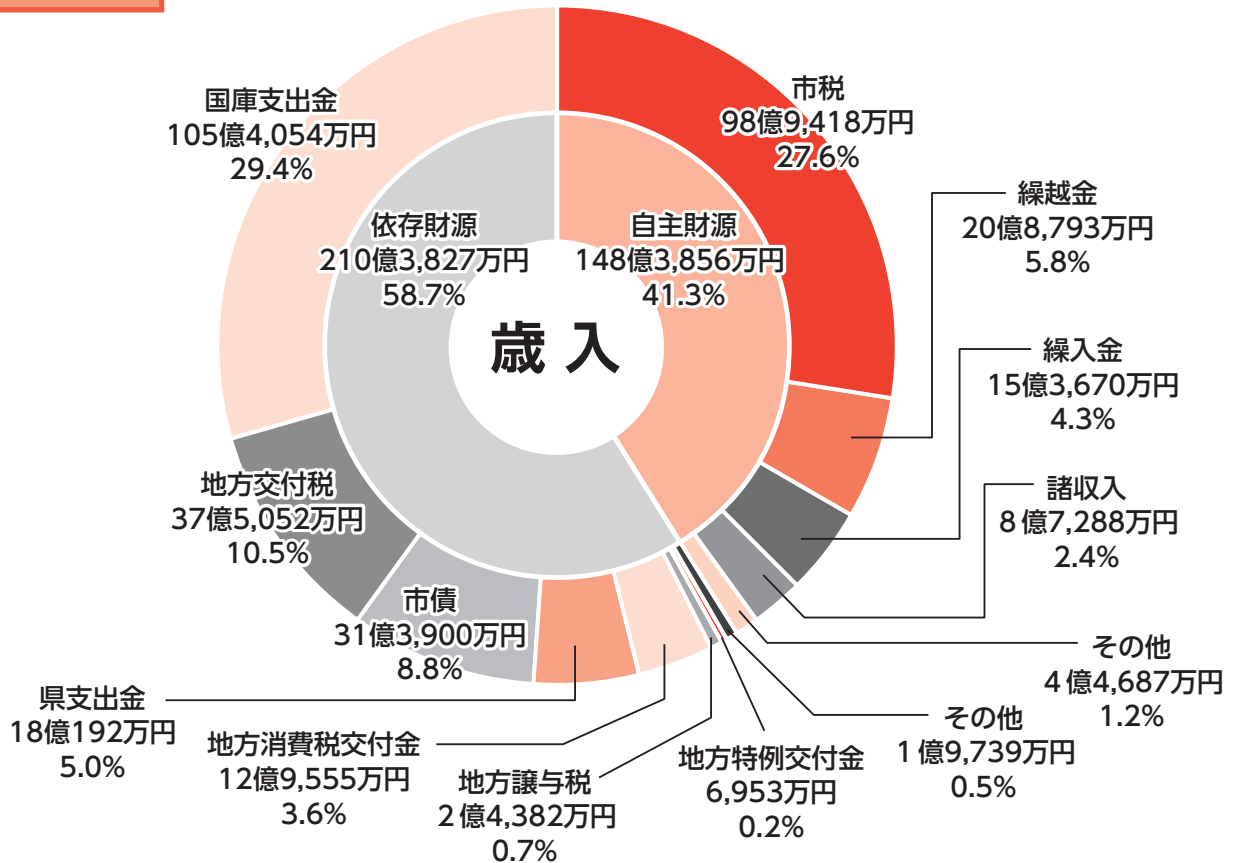
令和2年度の一般会計、特別会計及び水道・下水道事業会計を合わせた決算額は、歳入総額517億8,823万円、歳出総額495億714万円となりました。

一般会計は、歳入総額が358億7,683万円、歳出総額が338億9,735万円で、前年度と比べて、歳入が70億1,863万円、24.3ポイント増加し、歳出も71億2,708万円、26.6ポイント増加し、歳入と歳出の差引額は、19億7,948万円となりました。



● 一般会計

歳入の状況 358億7,683万円



市税収入の増加

新增築家屋の増加による固定資産税等の増により、前年度に比べて2,469万円、0.3ポイントの増となりました。市税全体の徴収率は97.4%で、前年度に比べて0.2ポイントの増となりました。

地方交付税の減少

普通交付税は合併特例事業債や臨時財政対策債の公債費等の増により、前年度に比べて8,142万円増の32億3,724万円となりました。特別交付税は災害分の減により、前年度に比べて1億2,319万円減の5億1,328万円となりました。地方交付税全体では、前年度に比べて4,177万円、1.1ポイントの減となりました。

国庫支出金の増加

小中学生1人1台のタブレット端末の整備や特別定額給付金の給付、その他の新型コロナウイルス感染症対策の補助金等の増により、前年度に比べて75億2,309万円、249.3ポイントの増となりました。

県支出金の減少

農業の経営基盤を強化する補助金等の減により、前年度に比べて5,707万円、3.1ポイントの減となりました。

市債の減少

合併特例事業債や学校教育施設等整備事業債等の減により、前年度に比べて10億4,190万円、24.9ポイントの減となりました。

